

安全・健康

基本的な考え方

JSRグループで働くすべての就業者（従業員、協力会社員）が安全に働き、幸せだと感じる会社を目指すとともに、地域社会の責任ある一員として環境・安全に配慮した事業活動を行います。「安全は製造業で働く全ての人にとって最も大切な価値であり、事業活動の大前提である」という考えの下、JSRでは、『安全の基本理念』を定め無事故・無災害を目指します。

安全の基本理念

「安全」は、我々にとって、何よりも優先すべき大切な価値であり、すべての活動の基盤です。日々の仕事を終え、無事に帰るといふ、当たり前の幸せのために、安全、安心な職場作りと心身の健康作りに努めます。

安全の基本方針

・高い安全行動

安全の基本理念が浸透、行動指針が自分事として定着し、主体的安全活動により保安力が向上している。

・人財・組織力の強化

組織運営に必要な教育訓練プログラムの確立、実行により、高い個人スキルと組織能力、健全な組織風土を維持している。

・最適なリスク管理と保安対策

リスク重要度に応じた保安対策が、新技術を活用して効率的・効果的に実行されている。

安全の行動指針

- ・どのような状況下でも、常に安全を意識して行動する。
- ・決められたルールを遵守し、安全行動を率先する。
- ・顕在または潜在するリスクの把握と低減に努め、安全を確保する。
- ・働きやすい職場環境作り、心身の健康増進に努める。
- ・コミュニケーションと創意工夫で全員参画の活動を目指す。

安全マネジメントシステムと目標

JSRでは、安全管理規程に基づき、労働安全と保安防災に関する規程、手順を定めた「安全マネジメントシステム」を事業所ごとの状況に合わせて構成し、運用しています。当社グループ企業においても、各社の持つマネジメントシステムに基づき、PDCAサイクルを確実に運用することで、顕在または潜在するリスクの低減に努めています。

本マネジメントシステム、およびその活動の有効性を検証するため、各事業所主体での内部監査やパトロール、マネジメントレビュー、および社長をトップとした本社環境安全監査を定期的実施し、継続的な改善につなげています。

また、万が一事故が発生した場合に、適切かつ有効に対処し、被害の拡大防止を図るためのマニュアルを定めています。本マニュアルに基づいて原因究明、対策の実施、有効性の検証を行い、再発防止に努めています。あわせて、これらの情報をグループ内で共有することで、事故の未然防止に役立てています。

当社グループは、「安全は事業継続の基盤であり、会社が成長していくために必要な経営の重要課題である」という認識のもと、環境安全監査やマネジメントレビューの結果等を考慮して、次年度の目標と重点項目を定めています。重点項目への集中的な取り組みを通じて、効率的に労働安全・保安防災活動を推進しています。



詳細は、サステナビリティサイトをご参照ください。
<https://www.jsr.co.jp/sustainability/environment/reduction.shtml>

2022年度は、ここで定めた目標を具体的に推進するため、労働災害と設備災害の発生件数を当社グループの「安全・健康」のマテリアリティの評価指標（KPI）の一つとして設定しました。評価の基準はグローバルに統一し、モニタリングを開始しています。

心身の健康

JSRグループは、従業員の身体と心の健康は、従業員とその家族の幸福な生活のために、また職場の生産性および活気のある職場づくりのために非常に重要であると考えています。従業員が心身ともに健康で働けることをサポートするためにさまざまな施策を実施しています。

また当社は、エンゲージメント向上や労働生産性向上を目的に、組織活動の基本となる従業員の健康づくり促進活動「JSR Health Promotion」を推進しています。

この取り組みは、「全社員が自ら健康について考え、行動できる組織」となることを最終的なありたい姿・目標として掲げています。従業員一人ひとりのための、自分に合った、自分でできる健康維持・向上策を会社が提供・サポートすることを目指し、活動しています。

これらの取り組みの結果を第三者が実施するサーベイを通じて客観的に評価、課題を抽出して改善し、PDCAサイクルを回すことで、より効果的な健康保持増進施策を展開し、従業員の健康を支援していきます。

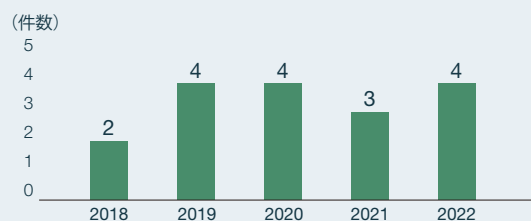


詳細は、サステナビリティサイトをご参照ください。
https://www.jsr.co.jp/sustainability/society/security_safety.shtml

安全な職場環境の構築

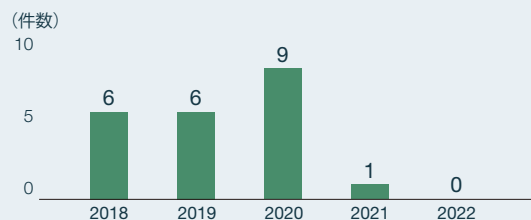
ゴール：労働災害の件数ゼロ

労働災害件数(休業4日以上：JSRグループ)



ゴール：設備災害の件数ゼロ

設備災害件数(重大災害：JSRグループ)



■ 労働災害

2022年度のJSRグループにおける休業4日以上¹の労働災害発生件数は、目標0件に対し、実績はJSRで1件、グループ企業で3件の計4件となりました。特徴として、近年発生が見られなかった腰痛、事務所での挟まれ・巻き込ま

れ、滑る・踏くといった災害が多く、発生原因の解析から、教育やリスクの特定に課題があることがわかりました。

2023年度は、これら労働災害の再発防止に向けた施策として、次の項目を推進していきます。

- ・ リスクアセスメントの充実(無理な体勢、反復作業腰痛を視点に加えた作業リスクの管理)
- ・ 教育の実施(事務系作業のリスク認識と教育の充実)

■ 設備災害

2022年のJSRグループにおける重大な設備災害^{※1}発生件数は0件であり、目標を達成しました。これまで当社で取り組んできた、設備の腐食管理、およびリスクに基づく設備・機器管理^{※2}が功を奏したことが理由の一つと考えています。本対策は設備管理システムの中に組み込んでいますので、今後も継続して実践していきます。

※1 弊社基準の危機レベルI,IIに該当する設備災害

※2 設備・機器ごとに安全性や故障頻度などを元に評価し、その結果に基づき点検・整備を管理

活動実績

2022年度の活動においては、4月のエラストマー事業の分割・譲渡を受け、石油化学プラントを中心とした安全活動だけでなく、ライフサイエンス事業を含む国内外のJSRグループ全拠点での安全基盤構築に重点をおいて取り組みました。

■ 環境安全監査

2022年度は、「リスク管理」「遵法管理」「事故管理」を重点項目として、さらにエラストマー事業譲渡に伴う環境安全の管理体制について、JSR3事業所、国内グループ企業7社を監査しました。今回監査対象とした事業所・企業において、安全活動に大きな影響を与える不適合はありませんでした。

一方で、リスク対策の維持管理について改善の余地がありました。さらなる安全レベルの向上を図るべく、次の項目を推進していきます。

- ・ リスク対策管理強化(高いリスク対策の維持管理推進)

■ リスク管理の徹底

2022年度は、JSRグループの対象範囲を広げた重要リスクの状況把握を行いました。2023年度は、環境安全に関するリスク管理基準を見直し、JSRグループ全体の重要リスクの管理強化を図ります。

■ 安全文化の醸成

JSRグループの安全文化の醸成に関するKPIの設定を進めています。2022年度にはJSRグループのグローバルな安全の考え方を制定しました。2023年以降、この浸透を図っていきます。あわせて、JSRグループの目指すゴール(KPI)を設定し、定期的に各事業所の安全状態をモニタリングしていく予定です。